



十周年記念式典を終えて

平成二二年十月三日ヒルトン大阪において、多くの保護者・関係者の皆様にご参列戴き、社会福祉法人ワークスユニオンの「十周年記念式典」が、無事開催できましたことをご報告いたします。

式典終了後の「祝賀会」においては、それぞれのテーブルで談笑の輪が広がり、とても楽しく心地よいひと時をすごすことが出来ました。

その席で戴いたご示唆やご助言を、これからの事業運営や支援に生かしてまいりたいと考えております。

ご参列いただきました皆様、本当にありがとうございました。これからもワークスユニオンへのかわらぬご支援をお願いいたします。

還暦を迎えた利用者も増加している今、「老齢期を迎えた利用者への支援の有り方」について、私たちなりの「スタンス」を急ぎ確立しなければならないという大きな課題を抱えています。

「障害者自立支援法」の廃止と、それに替わる「障がい者総合福祉法」の制定へと、障がい者福祉を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。この「式典」を期に「十年の歩み」を振り返るとともに、次の十年に向けての私たちなりの「想い」を確かなものとしたかったのです。

一人ひとりの利用者の「ライフステージ」に合わせた、小さな、そして会員組織の「ワークスユニオン」でなければ出来ない支援の有り方を、出来るだけ早く見付け出したいと考えております。

(南石)

充実した生活を送れる場「ユニオン」に

秋本恵子

ワークスユニオン設立十周年おめでとうございます。

十月三日のヒルトンでの記念式典に参加させて頂き、たくさんの方々が来て下さり、とても雰囲気がよく、お料理も豊富で、楽しいひとときを過ごさせて頂きました。本当にありがとうございます。きつと山川さんも喜んで下さったのではないのでしょうか。

私達親子共々、ワークス清川の立ち上がりからユニオンにお世話になるようになりました。それまでいろいろとありましたが、作業所に行くようになって、とても落ち着き、「今までは何だったのか」と思うくらいでした。

その頃、山川さんより、メゾンのグループホームの食事の世話を依頼され、一度は無理だとお断りしましたが、山川さんの「家庭料理でいいんだよ」の声に押されて始め、早や六月で丸

9年が過ぎました。

その中で一番残念なことは、山川さんの早過ぎる旅立ちでした。大きな柱を失ったユニオンをここまで支えてきた南石所長の御苦労も大変なものだったことと思います。

私は保護者であり、ユニオンの世話人として内側から見て参りましたが、職員の方々の利用者の方との関わり方には、本当に感心させられます。

親も子も年をとって、親亡き後の心配が、皆さんにあると思いますが、「ユニオンなら安心しておまかせできる」そんな思いを確信しております。この先、ユニオン全体が一つとなり、全員一丸となって充実した生活を送れる場ができることを祈願し、これからのユニオンを見守っていききたいと思えます。

南石所長を始め、職員の皆様、これからもぬくもりのある御支援、よろしくお願いたします。

息子の自立

岡島恭子

仲宜がケアホームに受け入れていただいていた早六年余。感無量です。

家しか知らず、家以外を拒否していた息子が……と思うと、最悪の場合逃げ帰ることをも危惧していた私には完全な肩透かしでした。

息子の将来として長い間描いていた理想の生活。理想に終わるだろうと自身に警鐘を鳴らし続けていた理想だった。その理想に到達できた喜びは、何にも代え難いものです。

息子はいろんなトラブルを振り撒き、親は対処してただける事に甘え、それでも私が願っていた通り、人として生き生きと生活を築んでいる息子に、心からのエールを送りたいです。

親と子のつながりで育んだちっぴけな礎に大きな花を咲かせて下さったユニオンの専門家の偉大さを改めて感じ入ります。先生方のお話を伺う度、熱い思いが

伝わってきますし、人としての生き方を見据えて下さっていることに感謝あるのみです。

仲宜らしく働いて、友達とのつながりを持って、それらを見守って下さる先生方に囲まれている日々。なあんにも言いませんけれど、しあわせなんでしょうね。顔を見せる度、落ちついてきた話し方や行動にも伺えてうれしい限りです。トラブルメーカーですが、これからも宜しく見守ってやって下さい。

時の移り変わりと共に、即応してもらわねばならぬことが増えてくることと思えますけれど、一本筋の通ったユニオンですもの、心配していません。

利用者の為に頑張っているだけですよお願いすると共に、微力ながら後押し出来る保護者でありたいと思っております。宜しく御指導下さいませ。

十年の歩み

豊田健次

社会福祉法人ワークスユニオン十周年記念おめでとうございます。

栄えある式典に参加させて頂きありがとうございます。ありがとうございました。

今は亡き山川先生も、「おいー楽しいぞうだな。俺にも一杯注いでくれよ。」とおっしゃっておられるように思いました。

山川先生の理念を引き継ぎ、理事長を始め、多くの有識者の先生方に支えられ、南石所長、職員の方々が二十四時間、必死のパッチで努力されて来られた賜物と感謝しております。

保護者会役員の皆様、そしてワークスユニオンを築いて来られた先輩の皆様の苦労が実った十周年ではないでしょうか。心から感謝しております。

ワークスユニオンが次の十年に向けて、変わりなく歩んで行けるよう祈念しております。

自分らしく生きられる環境を

日下泰子

ワークスユニオン設立十周年おめでとうございます。

私の息子は、設立前の「ワークス田積」の時からお世話になっていきます。多くの方々のお力添えを頂いて、今日まで来ることができました。

この十数年で、「こんなふう成長しました」と言えるものはありませんが、「こんなことができた!あんなことも」と、時折ささやかな幸せを感じています。人一倍手のかかる息子を暖かく見守り、また、いろいろな力を引き出していただき、職員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

現在、息子は二泊三日の『短期自立体験』を隔週でさせていただいています。短期を始めるときに、お世話くださる方が大変なので迷いましたが、現状を知っていただかないと将来の生活は成り立たないと考え、

思い切ってお願ひしました。案の定、いろいろなことがありましたが、本人もそれを乗り越えてもらわなければと思っています。

おかげさまで、短期を始めてまもなく一年になりました。これを続けられたことで、息子のこれから歩んで行く道に少し光が射してきました。「障がいの重い人にも自分らしく生きられる環境を」というワークスユニオンの取り組みは、私達家族にとってとても心強く、そして一番の望みです。

ワークスユニオンには、情勢の変化の中でも、子供達を支え続けていただけますよう心から願っています。

御寄付

十周年記念式典開催にあたり御寄付をいただきました。

後援会役員

秋本恵子様

安達ケイ子様

大西美代子様

岡島恭子様

兼信洋子様

西川孝子様

三宅ふさ野様

山城幸子様

淀野登美子様

社会福祉法人

旭わかば作業所様

アンダンテ加島様

税理士法人

大阪合同会計事務所様

大阪市育成会

地域生活支援センター様

大阪市

職業リハビリテーションセンター様

株式会社かんでんエルハート様

株式会社ゴトウ

代表取締役 後藤芳恭様

株式会社酒向製作所

代表取締役 酒向正博様

サテライトオフィス平野様

株式会社サンメンテナンス

代表取締役 深田良宏様

社会福祉法人

そうそうの杜様

株式会社太陽商會

代表取締役 西木宣雄様

株式会社ちもと

代表取締役 松井明太様

トラベルタイト

代表者 津本皓司様

社会福祉法人

原町成年寮様

矢野紙器株式会社

代表取締役 矢野孝様

株式会社山創

代表取締役 山本恵子様

特定非営利活動法人

ワークステージ様

the 10th anniversary



(五十音順)

この御寄付は社会福祉法人ワークスユニオンのこれからの支援のために大切にに使わせていただきます。ありがとうございます。

十年間の私と生活のいま

新開富美子

はじめは、二人ぐらしをして、一人一人の部屋があつて、お風呂そうじとか、トイレそうじとか、せんたくきの順番とかがあつて、たいへんでした。

お風呂に入るのに、順番があつて、好きな時間に入れなかつたのです。

そんな生活が何年もあつて、いやでした。

一人べやで住みたいと思つていただけ、ずつと迷つていました。でも、一人ぐらしをすることに、きめました。

一人ぐらしをして、よかつたのは、好きな時間にお風呂を洗つて、ためて、入れるのと、トイレとか、せんたくきも好きな時間につかえるのがよかつたです。ケイタイも、もてるようになりました。でも、ユニオンと、お母さんに、かけるだけで、メールは、まだうてません。でも、うれし

いです。

前は、お母さんと私が話をすると、けんかになつてお父さんと、妹とは、あまり、しゃべらなかつたです。

でも、ケイタイで、れんらくを、とれるように、なつて、けんかは、なくなりました。

お母さんは、しんどくないときや、天気の良い日と私と休みとかが、いっしょのときは、私の所に、くるようになりました。

今年、家族4人で、旅行に行きました。楽しかったです。

私の夢

吉本 勲

私は以前、ワックス匠で働いていました。そこではクリップやリングなどの文具類、ボルト等の仕事をやってきました。さまざま人と一緒に仕事をしてきました。昨年、十月からLクラスに移つて、ワイヤーやハンガーなど、匠とはちがつた内容の仕事をしています。私にとって仕事とはむずかしいものです。

毎週月曜日にはパソコン教室にも通つて、パソコンのことを勉強しています。

これからの夢は、会社に就職して働いてみることで、また、頑張つて仕事をしたいと思つて、テレビやパソコンを、そして、できることなら、一人で生活してみたいと思つています。

山川さんの死は大変ショックでした。ユニオンをこれからも愛しつづけるし、だいです。よろしくおねがいします。

十周年に寄せて

青野聖次郎

十周年をむかえました。十年をふりかえつて、歩でハンガーではたらきました。二〇〇三年に歩から、和にきました。和でボルトの作業です。

二〇〇〇年代はユニオンの出来事で、野外活動、利用者旅行、クリスマス会、スポーツフェスタ、ボーリングもしました。箕面は、余暇活動に行つて、滝が見えました。

ケアホーム旅行で北海道、東北、東京、北陸、中国、四国、九州、沖縄に行きました。これからの目標。来年は静岡へ行くよ。うなぎの名産で、パイとスイーツです。たのしみです。

ワークスユニオンの山川さんの思い出はなつかしいです。ユニオンでがんばっています。山川さんは、メッセージで平和をつげます。ユニオンをよろしく。

編集後記

ワークスユニオン十周年式典の際は、たくさんの方にお集まりいただき、ありがとうございました。ワークスユニオンが、多くの方々に支えられていることを改めて感じた一日でした。式典では、たくさんの激励や期待の言葉がありましたが、ぐさつと胸に突き刺さるような激しい指摘は、それ以上。襟を正して、次の十年に向かわなければいけないと実感しました。

地域生活支援の第一人者である山川さんの実践に、私たちは足元にも及んでいません。でも、それではないのです。新しい福祉制度の中、目の前にいる利用者のためには、私たちはいつか山川さんを越えなければなりません。

それには、まず、職員一人一人が、山川さんについて、ワークスユニオンについて、しっかりと認識することから始まります。(S)